

事業所名

児童発達支援センターぐるんばさか(放課後等デイサービス)

支援プログラム(参考様式)

作成日

2024年

12月

26日

法人(事業所)理念	障害のある人たちが地域の中で理解され、いきいきと豊かで自分らしい生活を送ることが出来るように支援の充実に努めます。 「手をとりあって ゆっくり のんびり いっしょに 行こう」		
支援方針	保護者の方と共に、子どもさんの現在と将来の自立を目標に取り組みます。 アセスメントを基に、一人ひとりの障害特性や発達段階に合わせた関わりや必要な支援を行い、自分で気づいて取り組める力を伸ばしていきます。 学齢期の子どもさんの一貫性と継続性を目的に療育を行います。		
営業時間	15時00分から	17時00分まで	送迎実施の有無 あり (園で定めた基準により実施)
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化や視覚的支援などの手法を用いて、障害特性に合わせた環境設定で活動を行います。 ・本人の段階に合わせて、自分自身の気持ちや体調について学習を行います。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩など軽い運動や感覚的な遊びなど、個々に合わせて、自身で発散できる活動を取り入れます。 ・微細運動については、学校生活や将来の就労スキルに繋がる基礎的な内容を、細分化して個別の勉強場面で取り組みます。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的なスケジュールを活用し、子どもさんが見通しを持って行動できるように支援します。 ・手順書などの支援ツールを活用し、自立的に、また、人や場面が変わっても取り組むことが出来るよう支援します。 ・小集団活動で、事前に学習した適切な振る舞いや行動を意識して取り組む機会を作ります。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんの発達段階に合わせて、視覚的な手立てを使って先生に要求したり、許可を取って活動したりする機会を設定します。 ・子どもさんに合わせたツールを用いて、自分の気持ちを整理して相手に伝えたり、相談する場面を作ります。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんの理解に合わせて、視覚的な手立てを活用し、ルールや振る舞い方の学習を行います。 ・学校や家庭での困り事について、職員と1対1の場面を設定して整理をしたり、対応方法を一緒に考える機会を作ります。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや学校との連携について困り事がある場合に、相談援助を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な移行を見据えて、支援目標の設定を行う。 ・子どもさんの将来の生活がイメージできるよう、情報提供を行う。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会へ参加し、地域課題の把握・解決に努めている。 ・保護者や学校の困り感に対して、必要に応じて訪問し相談援助を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外での研修の実施、参加。 ・定期的な職員会議を開催し、一貫した支援のための情報共有を行う。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・調理活動、創作活動など 		